

授業No.7

T.Q.「アリストテレスの一元論哲学の内容とは？」
教科書P.35～

向出 研司：石川県立寺井高等学校
地歴公民科教諭

直前予習 T. A. キーワード確認

教科書P.35・36

T.Q.「アリストテレスの一元論哲学の内容とは？」

1. 形相
2. 質料
3. 知性的徳
4. 倫理的徳
5. フィリア
6. 習慣

クリックで全て



今日の授業ラインナップ。

1. 師のプラトン(理想主義)を批判した
弟子のアリストテレス(現実主義)
2. アリストテレスの一元論
=イデアは現実の個物に内在
3. 徳と正義についての考察→説明

T.Q.「アリストテレスの一元論哲学の内容とは？」 教科書P.35～

④ アリストテレス

(1) プラトンの弟子

(2) 思想

1 現実主義→「万学の祖」 ※1

...イデアは個物に内在 ∴ 一元論

ex. 家 { 本質＝イデア...目的そのもの。形相(エイドス)
材料＝個物(木材 etc.)...手段。質料(ヒュレー)

2 最高善とは目的そのもの ex. 神、人格 ※2①②

3 「人間はポリス的動物」 ∴ よい人＝よい社会人(市民)

1/2枚目のスライドはここまで！

- 2 最高善とは目的そのもの ex. 神、人格
- 3 「人間はポリス的動物」 ∴よい人=よい社会人(市民)

ここから

4 徳

T.Q.「アリストテレスの一元論哲学の内容とは？」 教科書P.35～

知性的徳

ex. 知恵

倫理的徳 ← 訓練で習性にする

...中庸が大切 ※3

ex. 勇気(小=臆病 ↔ 大=無謀)

5 友愛(フィリア) ...同志愛、友情

6 正義 — 全体的正義 ex. 公共の福祉 > プライバシー権

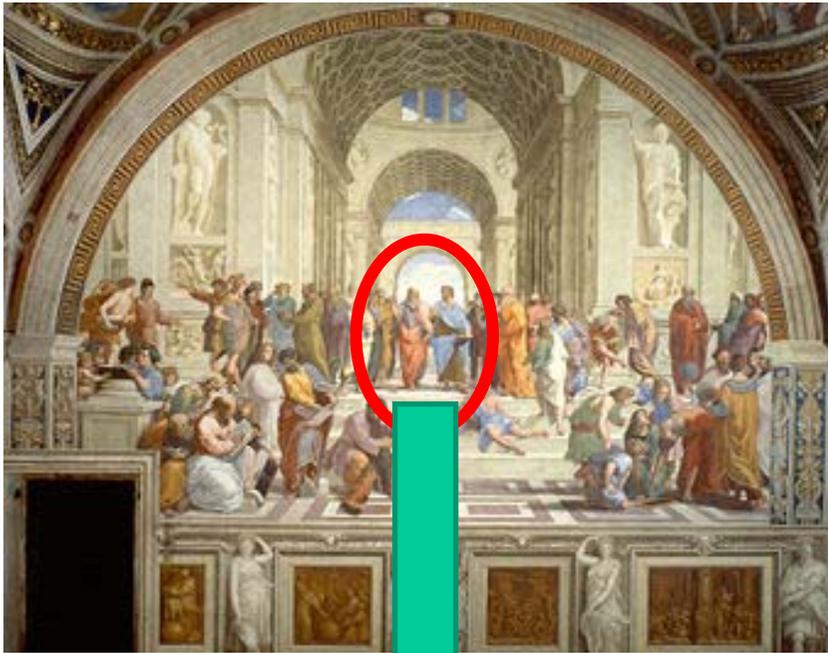
部分的正義

調整的正義...個人差考慮せず ex. 法や裁判 ※4

配分的正義...個人差に応じて ex. 業績給 ※5

最後のスライドはここまで!

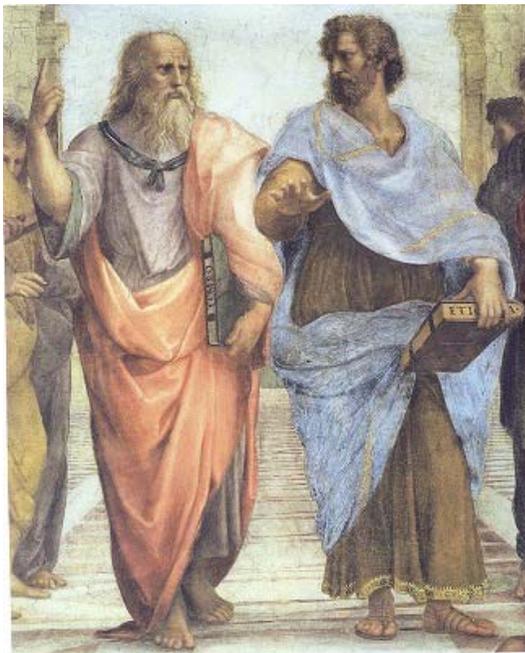
※T. A. まとめスライドへ



← ラファエロ画「アテネの学堂」

プラトンとアリストテレス ※1

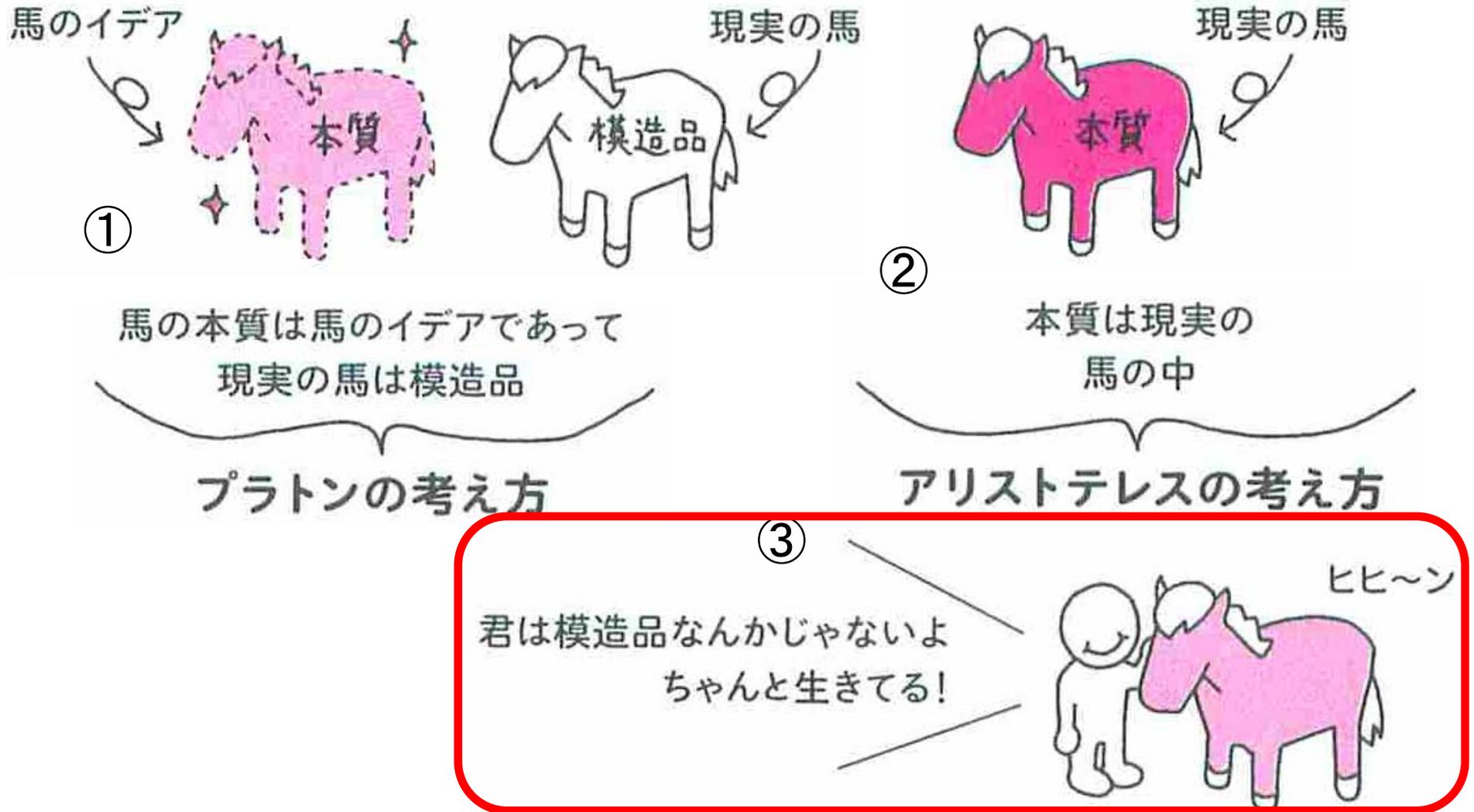
プラトンが
指を天に向けているのに対し、
アリストテレスは
手のひらで地を示している。
これは、
プラトン哲学の
理想主義に対し、
アリストテレス哲学の
現実主義を
象徴していると考えられる。



クリックで、ズームアップ！

アリストテレスは物や生き物の本質は目に見えないアイデアなどではなく、それぞれの個物の中にあると考えました。

※2①next



クリック①:プラトンの考え方→②:アリストテレスの考え方→③:現実や現象を肯定

※2②back



ジブリ作品の
「千と千尋の神隠し」

主題歌は
「いつも何度でも」
(歌・作詞・作曲:木村 弓)

歌詞(最後のフレーズ)の世界に、
アリストテレスの哲学が...! ?

Let's listen and watch !



YouTube:木村弓
「いつも何度でも」

幸福になるためには中庸の精神が大切

ex. バドミントン競技者の中庸とは？

ちゅう よう
中 庸

クリック①～③で、
それぞれの中庸



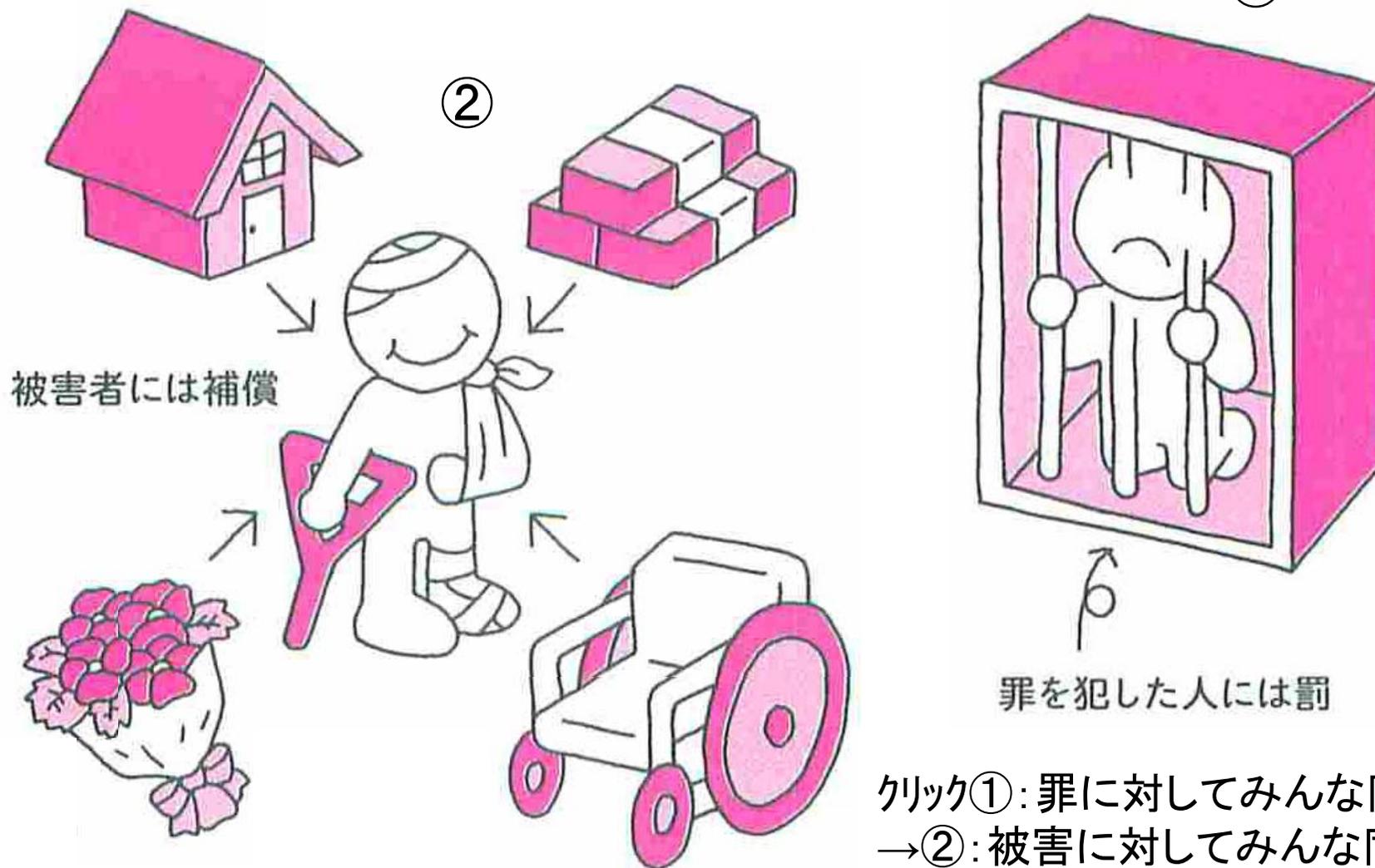
※ 3

調整的正義（矯正的正義）

罪を犯した人には罰を、被害者には補償して公正さを保つこと。

☆ 正義としての平等（公平）はOK

①

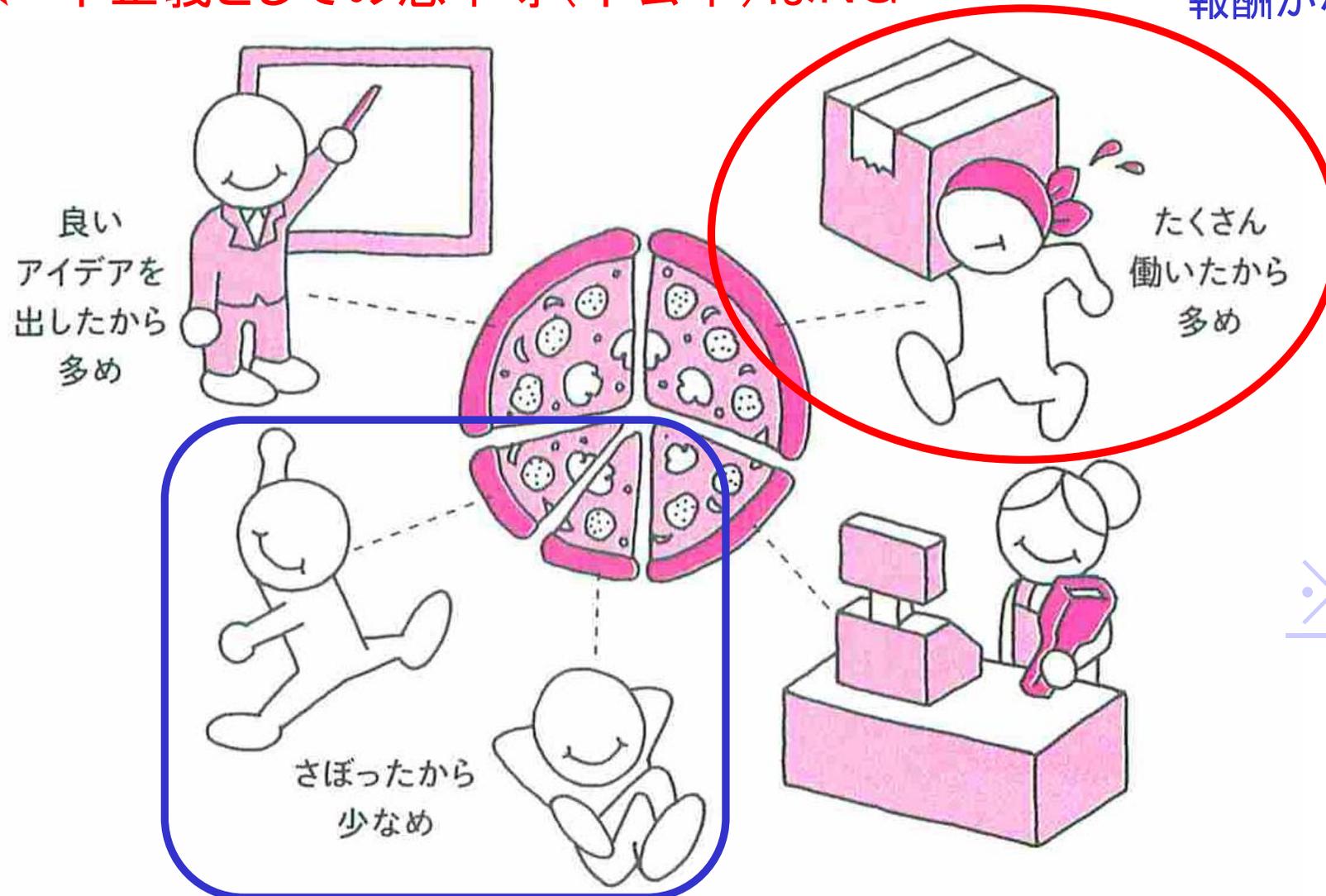


配分的正義

能力や労働量によって報酬を分けること。
アリストテレスにとってこれは正義だった

☆ 不正義としての悪平等(不公平)はNG

クリック①:
業績給で
報酬が大きい人
→②:
報酬が小さい人



倫理 授業No.7

T.Q.「アリストテレスの一元論哲学の内容とは？」

師プラトンに対してアリストテレスは、「イデアは個物に内在する」とした。彼はイデアをエイドス（形相）、個物の素材をヒュレー（質料）と呼び、現実中存在する個物は、この両者が結びついたものであるとした。また、完成体を現実態（エイドスにあたる）、未完成体を可能態（ヒュレーにあたる）と呼んだ。